

津波警報の発表基準等と情報文の
あり方に関する検討会
第3回会合

海底津波計の整備について

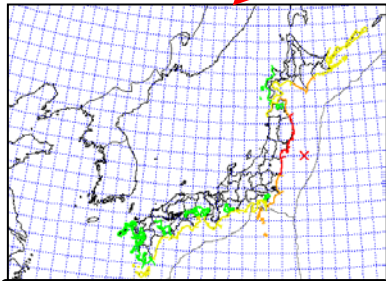
平成24年1月31日

平成23年度第3次補正予算による津波警報改善に係る措置

強震動でも振り切れない広帯域強震計による国内地震観測網の強化

地震発生

国内地震観測網による速報



津波警報
(地震発生から3分以内)

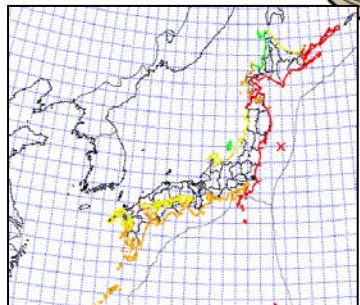


3次補正で80ヶ所に整備する広帯域強震計による長周期成分の観測



広帯域強震計の観測データを含め再評価

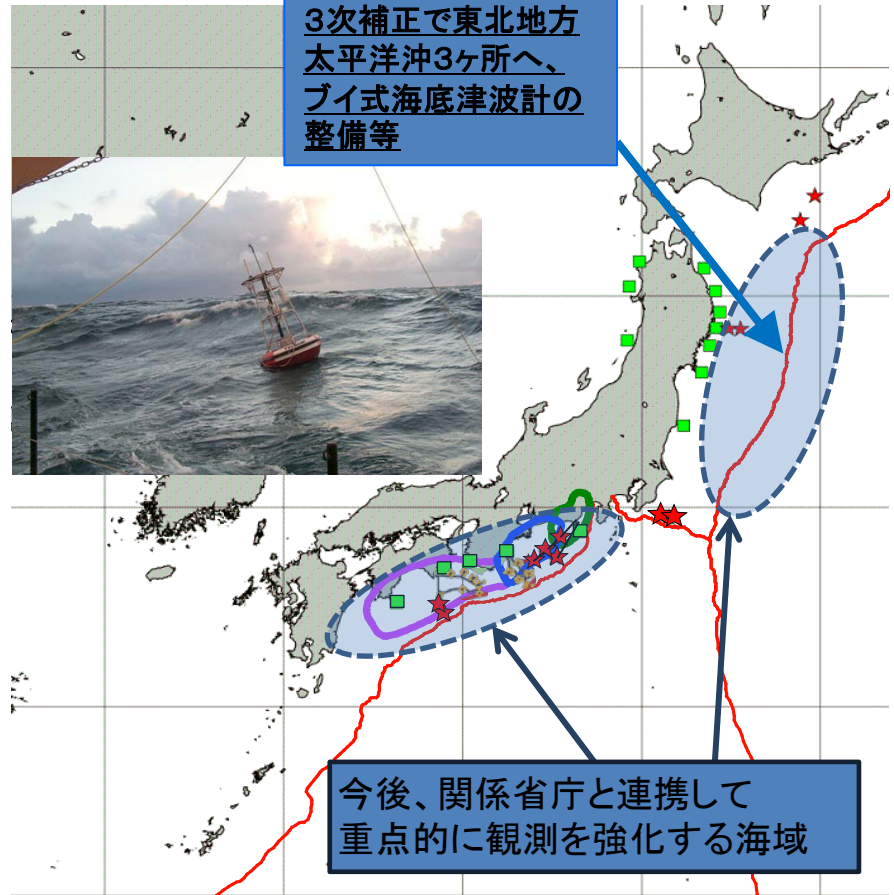
津波警報続報
(地震発生から15分程度)



15分以内に巨大地震のマグニチュードを精度良く把握し、適切な津波警報を発表する。

沖合津波観測網の強化

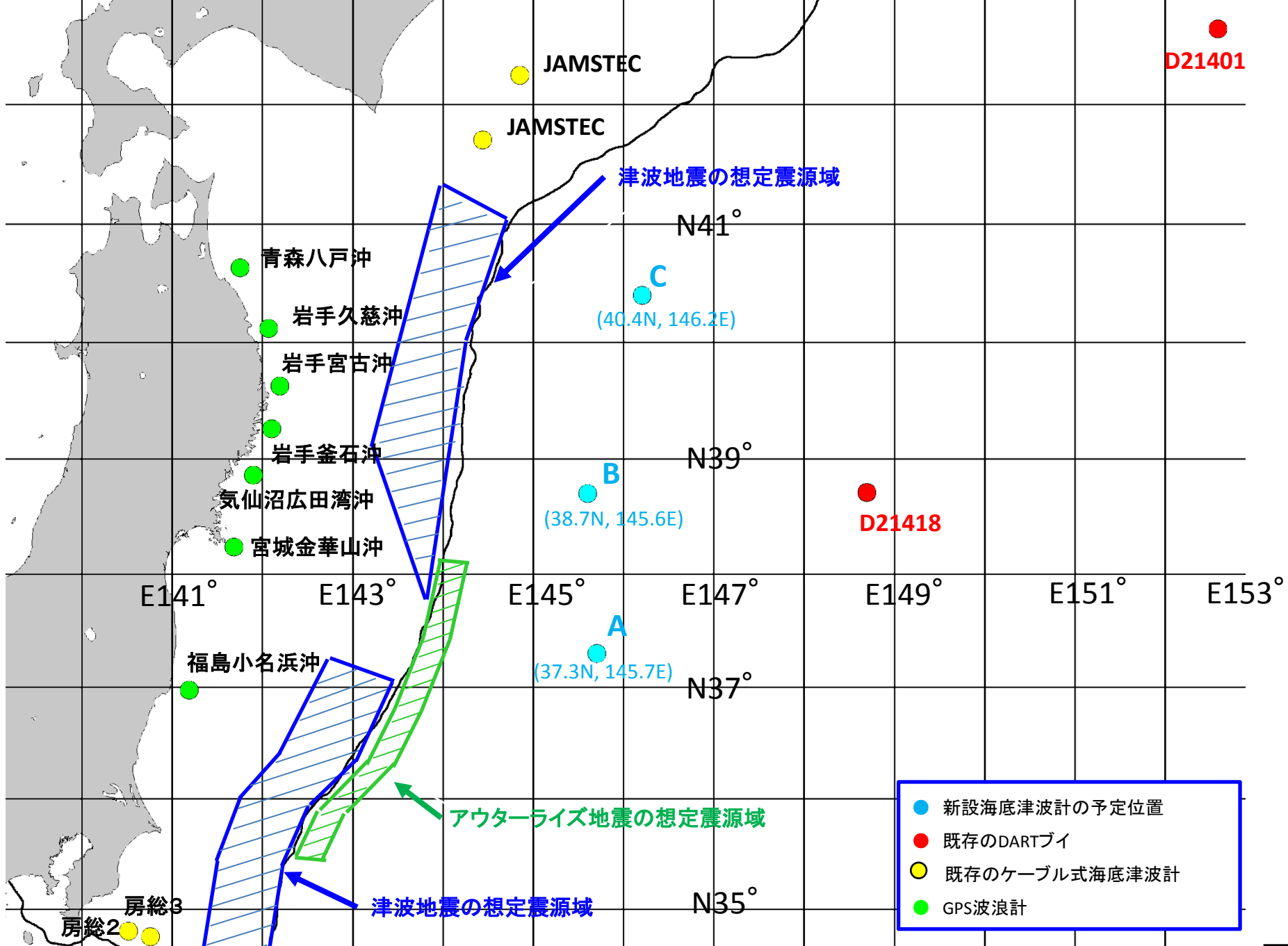
3次補正で東北地方太平洋沖3ヶ所へ、ブイ式海底津波計の整備等



今後、関係省庁と連携して重点的に観測を強化する海域

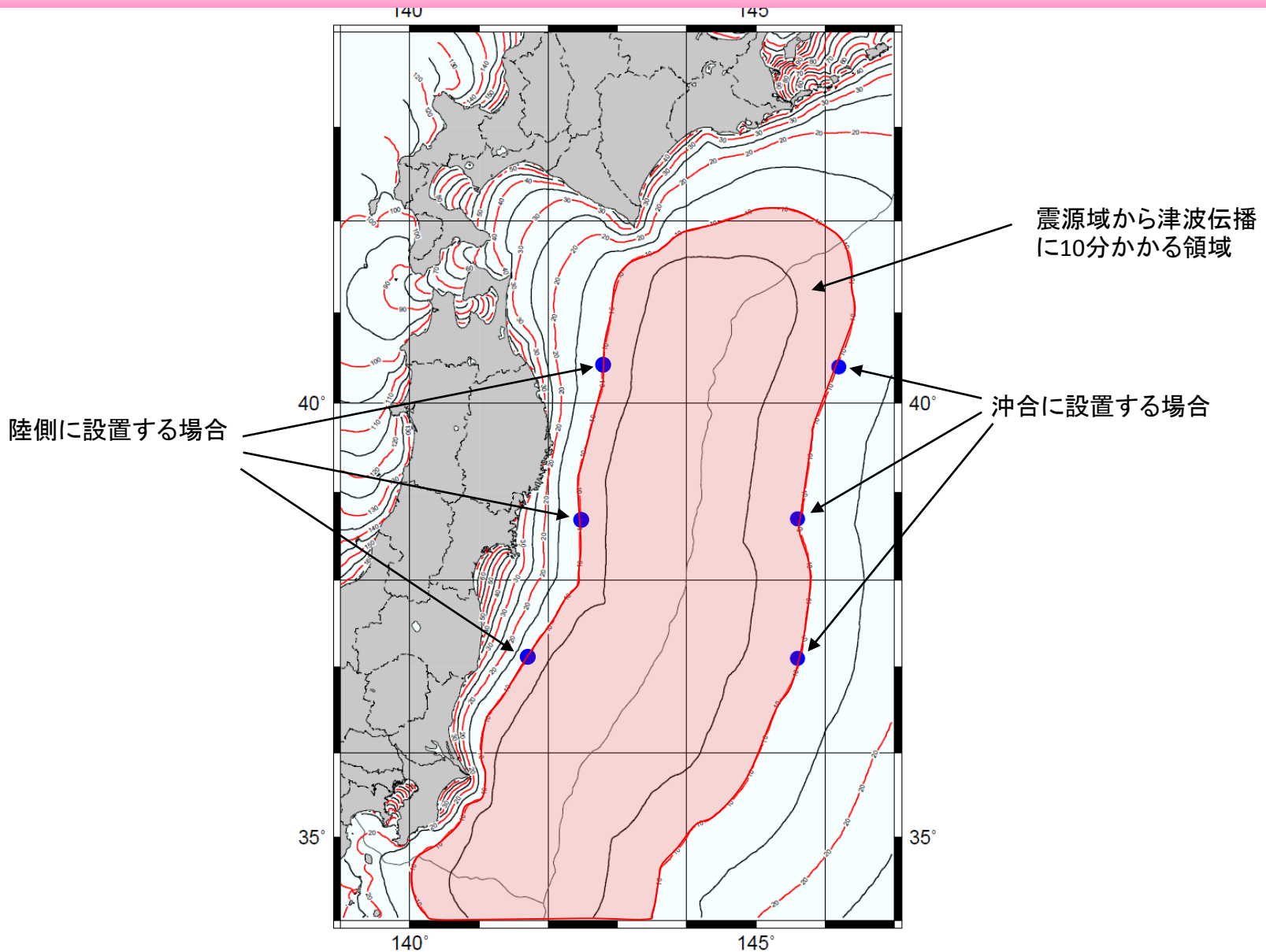
- ★ ケーブル式海底水圧計(気象庁、東大、JAMSTEC)
- 国交省港湾局GPS波浪計
- 🌸 DONET(ケーブル式、JAMSTEC)

より確度の高い津波警報とその更新報を、迅速確実に発表する。



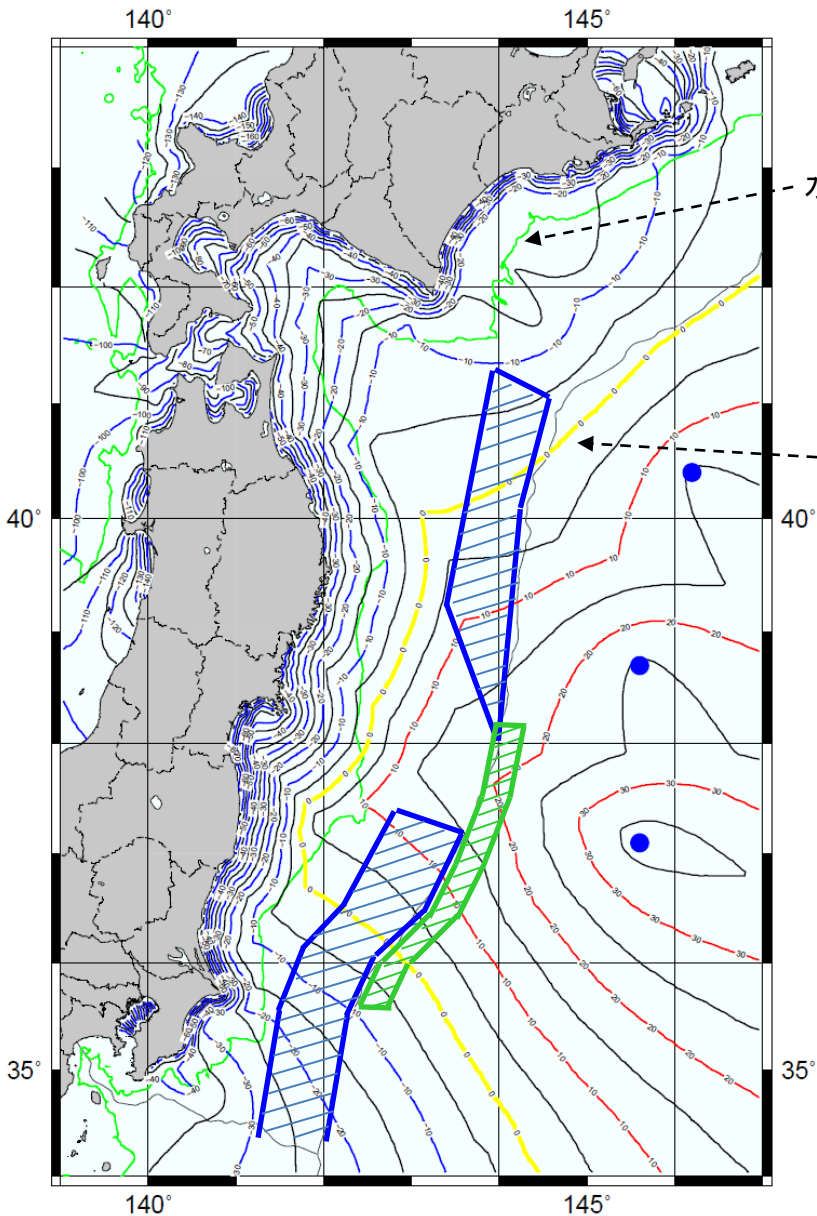
海底津波計の配置案(より詳細な位置は今後の調整により若干変更の可能性はある)

陸側に設置した場合との比較(1)



想定震源域からの津波伝搬時間、及び海底水圧計の設置候補

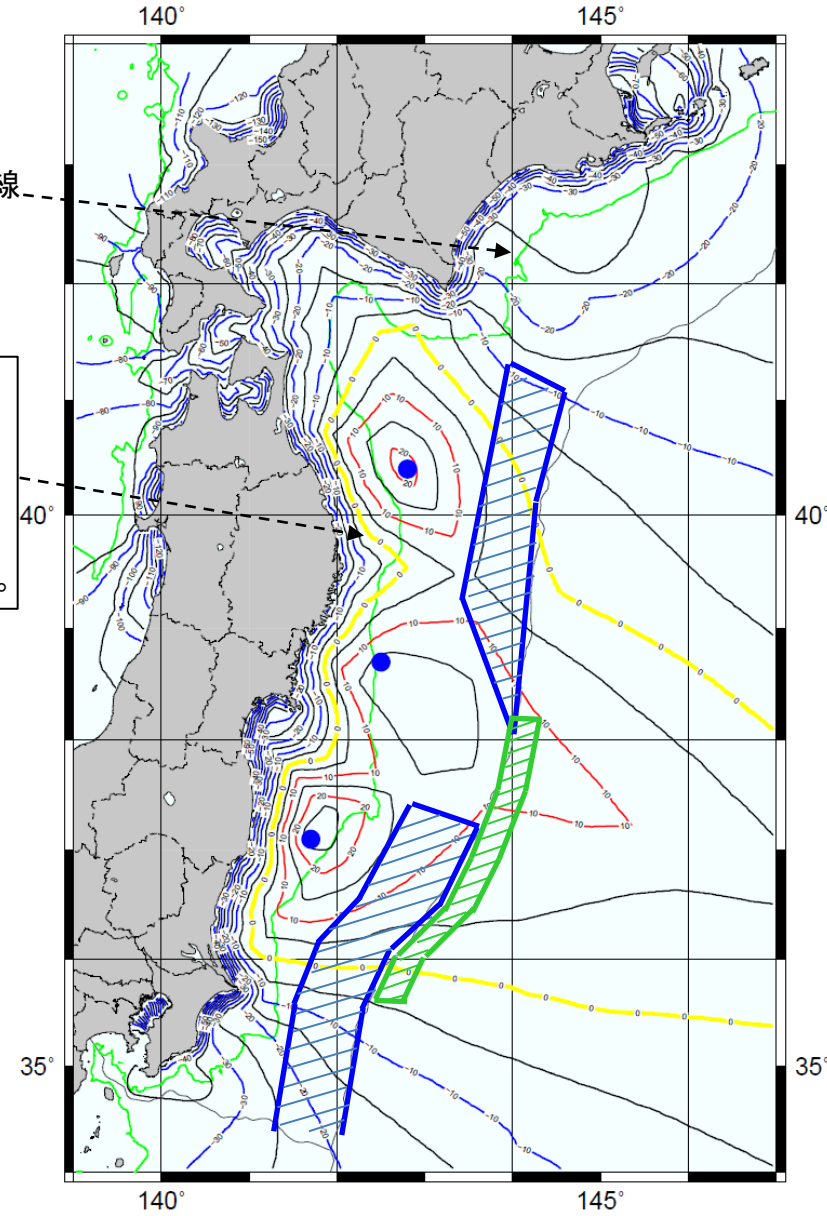
陸側に設置した場合との比較(2)



海底津波計と既存の観測施設との津波到達時間差(沖合に設置した場合)

水深1000mの等深線

黄色の線上で津波が発生した場合、海底津波計と沿岸または既存水圧計とに津波が同時に到達。



海底津波計と既存の観測施設との津波到達時間差(陸側に設置した場合)